

## 臨床試験：「脳転移検索のために最適な造影 MRI 3 次元 T1 強調像法の模索」

### 研究の背景・目的

担がん患者では脳転移がしばしばみられ、予後に大きく関わります。造影 MRI は脳転移検索の gold standard ですが、様々な撮像法が提案されており、それぞれ特徴が異なります。当院では、3 次元 T1 強調像それぞれの弱点を補うために、複数の 3 次元 T1 強調像を組み合わせて撮像しています。ただ、これらのシークエンスでどれが脳転移に最適かの模索、検討はまだ十分ではありません。複数の 3 次元 T1 強調像を撮像することは検査時間を延長させる結果にもなり、MRI という閉鎖空間に患者さんを待機させることなどの弊害を生じます。

本研究では、脳転移に対する 3 次元 T1 強調像法を比較することで、どの撮像法の検出能が優れているかを検討します。また、どの撮像法がより読影しやすい画像か、読影時間を比較します。

### 対象

脳転移が疑われる症例のうち、担当医師により臨床上の必要性から頭部 MRI 評価を行う症例を対象とします。かつ満 20 歳以上の症例とします。

### 研究期間

倫理審査承認後 から 2023 年 03 月 31 日

### 試料・情報の利用目的及び利用方法

得られたデータを後方視的に集積し、統計学的な検討を行います。得られた画像は、診療画像としても活用されているものです。

### 提供する試料・情報の項目

脳卒中用 MRI プロトコルの画像、および患者の年齢、性別、症状および発症時期などの臨床データ

### 利用する者の範囲

MRI の撮像を行う放射線技師、画像診断を行う放射線専門医

### 個人情報に関する手続き

試験で得られたデータ類を取扱う際は、個人情報の保護に十分配慮いたします。病院外に提出する報告書には個人を特定できる情報を含みません。また、試験の結果を公表する際にも、対象になる被験者を特定できる情報が含まれることはありません。試験の目的以外にデータを使用することはありません。また本調査への参加を希望されない場合には、情報を用いる事はしませんので、以下の窓口までご連絡下さい。

### 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

東千葉メディカルセンター 放射線部 坂井 上之

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること

本研究は診療録情報を利用して行う後方視的な観察研究のため、インフォームド・コンセントは必要としませんが、研究対象者が情報の研究利用の提供停止を求める場合はこれを受け付けます。

## 臨床研究ホームページ開示文章

研究対象者又はその代理人の求めを受け付ける方法

下記の対応窓口までご連絡をいただければ対応いたします。

研究機関名および対応窓口

東千葉メディカルセンター

放射線部 坂井上之

TEL. 0475-50-1199